

みずほCustomer Desk Report 2016/06/30 号(As of 2016/06/29)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	102.40 AUD/USD
TKY 9:00AM	102.70	1.1076	113.71	0.9803	1.3350	0.7402
SYD-NY High	102.94	1.1131	114.49	0.9822	1.3534	0.7458
SYD-NY Low	102.17	1.1049	112.96	0.9782	1.3287	0.7382
NY 5:00 PM	102.80	1.1126	114.40	0.9796	1.3426	0.7458
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.38/12.28		△25RR	2.005	Yen Call Over	
NY DOW	17,694.68	284.96	債券市場	日本2年債	-0.2970	▲0.1bp
NASDAQ	4,779.25	87.38		日本10年債	-0.2300	▲1.5bp
S&P	2,070.77	34.68		米国2年債	0.6368	2.4bp
日経平均	15,566.83	243.69		米国5年債	1.0575	5.0bp
TOPIX	1,247.69	23.07		米国10年債	1.5155	4.9bp
シカゴ日経先物	15,810	175.00	為替市況	独10年債	-0.1260	▲1.4bp
ロンドンFT	6,360.06	219.67		英10年債	0.9490	▲1.2bp
DAX	9,612.27	164.99		豪10年債	2.0040	1.6bp
ハンセン指数	20,436.12	263.66		USD/CNH	6.6545	▲0.0300
上海総合	2,931.59	19.04		ドルインデックス	95.65	▲0.60
USDJPY 3M Vol	12.36	▲0.11%	商品市況	CRB指数	194.636	3.09
USDJPY 6M Vol	11.91	▲0.03%		NY金	1,326.900	9.00
EURJPY 3M Vol	13.37	▲0.90%		WTI	49.880	2.03
EURJPY 6M Vol	13.08	▲0.53%		Dubai Spot	45.42	1.15

東京	東京時間のドル円は102.70レベルでオープン。オープン前には首相官邸で政府・日銀の緊急会合が開かれたものの真新しい材料はなく、FRBのパウエル理事からは「EU離脱は米国を含む世界経済への新たな逆風になり得る。離脱の影響を見極めるのは時期尚早。」と発言したことから、米利上げは当面困難との思惑から円買いが強まり、加えて月末を控えた実需のドル売り圧力からドル円は下押しすると、仲値通過後に102.25まで下落する。午後に入り、日経平均が上げ幅を縮める動きに安値102.17をつけ、その後はやや買い戻されるも120円台半ばでは上値重い推移が続く。引けにかけてはじり安となり、結局102.29レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円はショートカバーが先行し、上昇する展開となった。朝方は102.29レベルでオープン。欧州株が出だしから堅調推移となり、英国のEU離脱に関連した新規材料が見当たらない中でポンドの買戻しが強まる。ポンド円が上昇する動きにドル円もつれ高となり、102円台後半まで上昇し、102.73レベルでNYへ渡った。ロンドン時間正午、キャメロン英首相の週次の国会での質疑応答では特段目新しい発言はなかったものの、ポンドドルはショートカバーを背景に終日堅調推移。朝方は1.3331レベルでオープンし1.3433レベルでNYへ渡った。ポンドの全般的な強さを受けユーロポンドは下落し、株の底堅さにも関わらずユーロドルは1.10台半ばから後半にかけて方向感に欠ける展開となった。(ロンドン・トルフリー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は102.73レベルでオープン。朝方は米5月個人支出が予想と一致し、個人所得が予想を下回った一方、前回分が上方修正され、強弱混在の内容にドル円の反応は限定的となった。その後は米5月中古住宅販売仮契約が予想を下回ったものの、為替市場への反応は限定的となり、その後は狭いレンジでの推移が続く。午後に入り英株式市場が国民投票結果発表前の水準まで買い戻され、堅調な米株式市場の動きを受けた円売りに102.81まで上昇するが、昨日の高値102.84付近では売り意欲もあり、102.49まで反落する。終盤に掛けては、リスク志向からドル売りが強まる一方、円売りも強まったことから、ドル円はじりじりと下値を切り上げ、102.94まで戻し、102.80レベルでクロスした。一方、フレグジットの影響は思った程大きくないと楽観的な見方が強まったことから、1.1104まで戻したユーロドルは、1.1087レベルでNYオープン。朝方は、株式市場が世界的に堅調に推移する中、ユーロショートカバーが強まり、昨日の高値1.1111を抜け、1.1131まで戻す。午後は方向感の無い推移が続くが、再びユーロショートカバーが強まったことから高値圏での推移が続く。1.1126レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 大熊・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月29日	08:00	米 バウエルFRB理事、講演	-	-
	15:00	独 GfK消費者信頼感	7月 10.1	9.8
	15:00	英 全国住宅価格指数(前月比/前年比)	6月 0.2%/5.1%	0.0%/4.9%
	18:00	欧 消費者信頼感・確報値	6月 -7.3	-7.3
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	6/24週分 -	-
	21:00	独 消費者物価指数・速報値(前月比/前年比)	6月 0.1%/0.3%	0.2%/0.3%
	21:30	米 個人所得・個人支出	5月 0.2%/0.4%	0.3%/0.4%
	19:30	欧 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	5月 0.2%/1.6%	0.2%/1.6%
	23:00	米 コンスタンシオECB副総裁、講演	5月 -3.7%/2.4%	-1.1%/4.6%

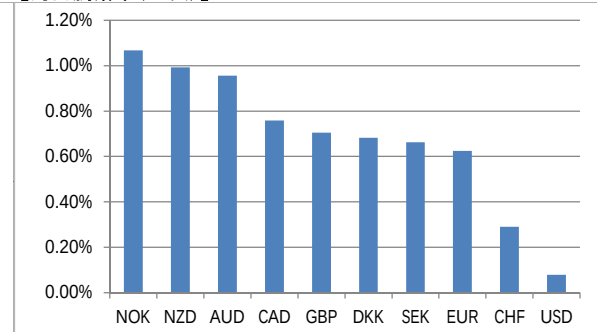
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月30日	08:50	日 鉱工業生産・速報値(前月比/前年比)	5月 -0.2%/1.9%	0.5%/-3.3%
	08:50	日 対外及び対内証券投資	6/24週分 -	-
	15:00	独 小売売上高(前月比/前年比)	5月 0.6%/2.5%	-0.3%/2.3%
	15:45	仏 消費者物価指数(前月比/前年比)	6月 0.2%/0.2%	0.4%/0.0%
	16:55	独 失業者数/失業率	6月 -5K/6.1%	-11K/6.1%
	17:30	英 GDP・確報値(前期比/前年比)	第1Q 0.4%/2.0%	0.4%/2.0%
	18:00	欧 CPI予想/CPIコア	6月 0.0%/0.8%	-0.1%/0.8%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	6/25週分 267K	259K
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	6月 51.0	49.3
7月1日	04:15	米 ブラード・セントスミス連銀総裁、講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	102.40-103.30	1.1070-1.1170	113.80-114.90

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル円は底堅い値動きとなった。英国のEU離脱に関する国民投票の結果への過剰な警戒感が和らいだことから米国株が堅調に推移、米長期金利も上昇したことから、ドル円も102.94円まで上昇した。本日は上値の重い展開を予想する。足許では、英国民投票を受けた過度な警戒感が和らぎ、ドル円は戻りを試す展開となっている。しかし本日は月末日の為、輸出企業によるドル売りに一旦は上値が抑えられる値動きを予想したい。